1. 宇宙飛行と食糧等の問題点

(1) スプートニク2号の犬は（7日間生存）宇宙飛行間、如何なる給食方法をとったか（自給システムとのみ発表している）。細部の機構が知りたい。

(2) 宇宙飛行中の栄養問題についてどんな研究がされているか

(4) (宇宙線等の輻射、無重力、孤独感、その他の異常な生理状態が人間の栄養にどんな影響を及ぼしているか、またその対策)

(3) 普通の人間から7連の宇宙食をとれば宇宙飛行が可能か。また特別に栄養、内臓機能について耐久力をつける訓練が必要か。

(4) 宇宙食の製造状況

〔生産技術（化学的処理）、包装容器、食糧の材料（クロレラ等）、薬品〕

(5) 宇宙食研究機関

(名称、所在、研究項目、研究者名)

(キエフの生理学研究所 リロチン博士は宇宙飛行間の生理の分野で数年来研究をしているようである。またキエフの医学研究所では宇宙飛行用食料の研究をしているようである。)

2. 宇宙飛行用ロケットエンジンについて

(1) 作動時の技術的資料

(推力、推進時間、燃焼室温度、ロケットの大きさ、形状、使用材料、製作者、マーク)

(2) 燃料の成分

(高エネルギー推進剤を使用または開発しているとのこと。)